

平成13年6月8日
原子力安全対策課
(1 3 - 2 2)
< 11時記者発表 >

高浜発電所3号機の第13回定期検査開始について

このことについて、関西電力株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

高浜発電所3号機（加圧水型軽水炉；定格出力87.0万kW）は、平成13年6月10日から約3カ月の予定で第13回定期検査を実施する。

定期検査を実施する主な設備は次のとおりである。

- (1) 原子炉本体
- (2) 原子炉冷却系統設備
- (3) 計測制御系統設備
- (4) 燃料設備
- (5) 放射線管理設備
- (6) 廃棄設備
- (7) 原子炉格納施設
- (8) 非常用予備発電装置
- (9) 蒸気タ - ビンおよび蒸気タ - ビン附属設備

1．主要工事等

- (1) 1次冷却材ポンプ供用期間中検査 (図 - 1 参照)
1次冷却材ポンプの供用期間中検査として、3台あるポンプのうち、AおよびCポンプについて、主フランジボルト、締め付け部等耐圧部の健全性を確認するとともに、分解検査としてインペラ等の内部部品について点検する。
- (2) 蒸気発生器伝熱管予防保全対策工事 (図 - 2 参照)
蒸気発生器伝熱管内面の応力腐食割れに対する予防保全対策として、引張り残留応力の低減を図るため、高温側管板拡管部の伝熱管内面にショットピーニング^{*1)}を実施する。

* 1 ; ショットピーニング

伝熱管内面にビーズ(インコネル、直径約0.2mmの微粒子)を打ちつけることにより、材料表面に圧縮残留応力を発生させる。ビーズ供給装置から連続的に供給されるビーズは空気により搬送され、伝熱管に挿入された先端ノズルから伝熱管に打ちつけられる。

- (3) 1次冷却材系統脱気装置の設置工事 (図 - 3 参照)
プラント起動時における1次冷却材系統の溶存酸素を低減し、配管の応力腐食割れに対する環境改善および脱気操作の短縮を図るため、すでに設置している脱気装置(3, 4号機共用)への接続配管を設置する。

2．燃料取替計画

燃料集合体全数157体のうち、57体を取り替える予定である。取替燃料のうち48体は、新燃料集合体(高燃焼度燃料集合体)である。

3．運転再開予定

原子炉起動・臨界	:	平成13年8月上旬
発電再開 (調整運転開始)	:	8月上旬
定期検査終了(営業運転再開)	:	8月下旬